「平和と人権」市民ネットワーク情報　N04

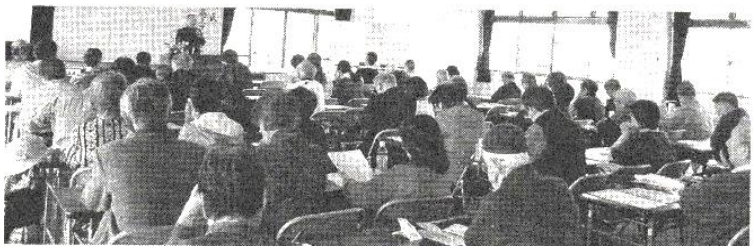
事務局発行(℡ 0557-45-1182)　http://peaceito.moo.jp　　2016.4/21

戦争法を廃止するために　－高田健さんの講演と交流の集い－

◆表記の集会が 4 月 3 日、八幡野コミュニティセンターで開かれました。会場には 66 名の方がお出でになりました。高田さんの話は興味深いエピソードがいっぱいで、具体的でとてもわかりやすかったです。

※こんな感想が寄せられています。

高田さんの話を聞いて、何としても戦争法廃止に向けて署名を頑張って集めようと、さらに気持ちが高まった。総がかり行動実行委委員会が出来るまでの苦労話が聞けてよかった。私もがんばらなくちゃ。6/5 国会前にも行きたい。



（写真は 4 月 6 日「赤旗」13 面の記事より）

◇「市民ネットワーク」が初めて主催したイベントでした。少ないスタッフで会場をつくるのに大変でした。ところが、終了後の片づけでは、たくさんの人が協力してくれて、あっというまに終えることが出来ました。**感謝・感激**です。ありがとうございました。なお、集会の「記録」を添付しました。ご覧になってください。

◆ 講演会『福島から伝えたいこと』 ◆

（写真は伊豆新聞 3/29 の記事）

震災や原発事故に向き合う高校生の心情などを語る小林さん＝市観光会館

3 月 26 日、福島県の高校の先生をしている「小林みゆき」さんを招いて講演会が開かれました。演題は「福島から伝えたいこと」。小林先生は子どもたちの言葉や描いた絵をたくさん紹介されました。例えば、清掃中の女子高生が交わした「私たち結婚できるのかなあー」という会話。「迷路」と題して不安な心象風景を描いた子。格納容器を国旗に見立て描いた男子生徒。センター試験と卒検と放射能に追い立てられる自分の姿を描いた子もいます。小林先生は、当時を振り返って、子どもたち同士で思いを語り合う場を作らなかったことを悔やんでいました。

5 年経って、もう震災や放射能のことは忘れたいという人が増えています。先生は「過去に目を閉ざすものは現在にも盲目となる」との言葉を引いて、過去の事実と向き合い、真実を知ることの必要性を強調します。子どもたちに寄り添うのは教員しかいない、と講演を締めくくられました。

れんらく・案内板

【 ５月３日憲法記念日、「伊豆新聞」と［朝日新聞］に意見広告を出します】

憲法九条を守る伊東市民の会は、２００５年以来５月３日に、『戦争をしない たしかな約束、憲法九条を守ろう』という趣旨の意見広告を伊豆新聞に出す取り組みを続けています。昨年は、伊東にとどまらず下田までの伊豆東海岸に広がり、５６４人の方々の賛同をいただき、全面の紙面で広告を出すことが出来ました。今年も同様に**１０００人を目標**に準備を進めています。伊豆新聞への賛同は、**４月２８日まで**でしたら間に合います。意見広告を支える市民の輪を広げていただき、九条を変えさせない世論をいっそう強めましょう。　　※問い合わせ先…**九条を守る伊東市民の会(☎37-9134)**

きんきゅう集会のご案内

☞ 別紙チラシまたは添付ファイルを参照

ふれあい広場で、憲法集会!

5 月 3 日 15:00~16:00　(雨天中止)

来たる５月３日は日本国憲法の 69 回目の誕生日です。ところが、安倍政権はこの憲法を敵視し、公然と改憲を唱えています。
憲法侮蔑 の政権に対抗して、憲法への誇りと愛着を語りませんか。
そ して、憲法の誕生日を一緒に祝いましょう。

私が　好きな　憲法の言葉　を　リレートーク

ミニ学習会を開きませんか

気軽な学びあいやミニトークの会をみなさんの身近で開きませんか。憲法・原発・沖縄や中国をめぐる問題、生活や福祉の問題をご一緒に学習しませんか。市民ネットワークでそのテーマに詳しい人を紹介・派遣します。人数は３人でも４人でも構いません。ご自宅に知り合いを集めてもいいではありませんか。連絡をいただければ、すぐに対応します。来る６月には、事務局の三好が平和委員会城ケ崎サークルの例会で憲法・国家緊急権をテーマにトークに加わります。

まずはできることから。一滴の油を池に注げば、やがて池いっぱいに広がります。

※連絡先…市民ネット事務局　(☎45-1182)